

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2025年5月8日(木)  
NO. 1576号  
本号3頁

## 「能動的サイバー防御」導入法案を許してはなりません

サイバー攻撃を未然に防ぐ「能動的サイバー防御」導入法案は8日、衆院本会議で 共産党とれいわ新選組などは反対したものの、自民党、公明党、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党などの賛成多数で可決し、参院に送られました。22日の参院内閣委員会で趣旨説明と質疑を行い、実質審議入りします。

法案は、自治体を含む、電気・ガス・水道・鉄道・航空・金融といった基幹インフラ（社会基盤）の事業者などへのサイバー攻撃による被害を防止するのが目的とされています。しかし、衆院での論戦を通し、法案の重大な問題点や危険性が浮き彫りになっています。

### 第一に憲法21条が保障する「通信の秘密」を侵害します。

基幹インフラの事業者などは、政府との協定に基づき利用者との間で通信する情報を利用者の同意なく政府に提供することになります。

政府は、取得した通信情報から送受信先を示すIPアドレスやメールアドレスなどの「機械的情報」を取り出しそれ以外は直ちに消去するとしています。しかし、IPアドレスは、スマホやパソコンなどインターネットに接続する個々の機器に割り当てられる識別番号です。手紙で言えば住所に当たり、それ自体が「通信の秘密」の対象です。

しかも、政府が情報を恣意的に選別していないか、手紙の中身に当たる「機械的情報」以外の内容を実際に消去しているのか、を確かめる制度はありません。

収集した情報は外国政府など第三者に提供することもできます。サイバー攻撃による被害防止の目的以外にも利用できる規定があり、警察や自衛隊が自らの業務で使用することも可能です。これは、警察が風力発電事業に反対する市民の個人情報収集し民間企業に提供したことを違法と断じた「大垣事件」判決をないがしろにするものです。同事件では、警察が市民のメールの内容を把握していたことも明らかになっています。

衆院での法案「修正」で「通信の秘密」の尊重規定が入りましたが、法案の仕組み自体は何も変わっていません。

### 第二は自衛隊と警察が憲法と国際法に反した先制攻撃に踏む込む危険です。

自衛隊と警察は収集した情報に基づき疑わしいと判断した海外のコンピューターに侵入し使えなくする「無害化措置」を行うことができます。能動的とは、自分から他にはたらきかけることであり、相手国の同意もなく「疑い」だけで無害化措置を行えば重大な主権侵害、先制攻撃とみなされる危険があります。

政府は、海外で戦争する米軍を安保法制に基づいて自衛隊が支援する際、相手国への無害化措置も可能としています。相手国からは日本が参戦したとみなされ、戦争の危険を呼び込むこととなります。

警察は犯罪の処罰を超えた無害化措置を裁判所の令状なしに実施でき、警察のあり方は大きく変質します。憲法と国際法を踏みにじる法案は廃案しかありません。

## 年金制度改革法案 給付抑制仕組み温存 政府提出できず

政府は3月に提出予定だった年金制度改革法案を、いまだに通常国会に提出していません。厚生労働省が検討している法案は、物価が上昇しても年金が自動的に減り続ける「マクロ経済スライ

ド」を温存するもので、提出されれば厳しい批判を浴びるのは必至です。衆院で少数与党の石破自公政権は、夏の参院選を控え、世論を恐れ同法案を出すにせぬのが実態です。

「私どもとして、きちんとした形で出すという方針に変わりはない」一。石破茂首相は4月23日の党首討論で同法案の提出について問われこう答えましたが、具体的な提出時期や法案の中身は示せませんでした。同25日の自民、立憲民主両党国会対策委員長会談で、自民の坂本哲志国対委員長は5月中旬の法案提出を約束しつつ、現時点では法案提出期日の明示には応じられないと陳謝しました。

与野党は同法案を、首相が本会議や委員会の質疑に出席する「重要広範議案」に指定しています。その重要広範議案でさえ提出できない事態に、石破政権の深刻な行き詰まりが表れています。

年金制度改革の最大の焦点は、自公政権が「100年安心」といって導入した「マクロ経済スライド」＝年金の実質額を下げる仕組みを続けるかどうかです。「マクロ経済スライド」は、毎年度の年金の改定率を物価や賃金の伸びよりも低く抑えることで、年金給付を抑え込み、目減りさせてきました。

2024年に行われた「財政検証」では、より現実に近い「過去30年投影ケース」の場合、57年度まで「マクロ経済スライド」による調整が続くと予測。基礎年金の調整が今後30年続き、報酬比例年金の額が少ない低年金者ほど年金額が大きく削減されます。

就職難や非正規化が広がった“就職氷河期世代”は10年たつと続々と65歳を迎え、年金給付が始まります。パートや非正規で厚生年金に加入していない期間が長いと、退職後に報酬比例年金が少なく老後の生活が成り立ちません。

厚労省は厚生年金の積立金を活用し、「マクロ経済スライド」を早期に終了し基礎年金を底上げる案を法案に盛り込む予定でしたが、自民党内で反対論が続出し、「十分理解が得られていない」として見送りました。

共産党は同16日に発表した「物価高騰から暮らしを守る緊急提案」で、「マクロ経済スライド」をなくすことで“減らない年金”を保障すると強調。▽巨額の年金積立金を年金の引き上げに活用する▽高額所得者の保険料優遇を見直す▽現役労働者の賃上げと待遇改善で保険料収入と加入者を増やす一など、物価上昇に見合う年金への改革を提案しています。

## 憲法記念日 憲法世論調査

### 読売 9条2項の改正について、改正の必要が「ある」が47%(昨年53%)

○各政党が憲法に関する議論をもっと活発に行うべきだと思うか

「もっと活発に行うべきだ」は74%。

○憲法審査会での議論の進め方については、意見が分かれた。「大半の政党で幅広く合意できるまで、具体的な条文の作成を進めるべきではない」は53%、「憲法改正に前向きな政党で、具体的な条文の作成を進めるべきだ」は43%でした。

○9条2項の改正について、改正の必要が「ある」が47%(昨年53%)、「ない」が49%(昨年43%)でした。今年は「必要ない」がわずかに上回りました。

○石破首相の在任中に、国会で憲法改正の議論が進むことを「期待する」は26%にとどまり、「期待しない」が72%でした。

### NHK 憲法9条「評価する」66%、「評価しない」が29%

○今の憲法を改正する必要があると思うかどうか聞いたところ「改正する必要があると思う」が39%、「改正する必要はないと思う」が17%、「どちらともいえない」が39%でした。

去年(2024年)の同じ時期に行った調査では「必要がある」は36%で、比較が可能な2018年以降、その割合は増加傾向にあります。

○憲法9条を改正する必要があると思うかどうか聞いたところ、「改正する必要があると思う」が34%、「改正する必要はないと思う」が28%、「どちらともいえない」が33%でした。

去年(2024年)の同じ時期に行った調査では「必要がある」は31%で、比較が可能な2020年以降、その割合は増加傾向にあります。

○憲法9条を「改正する必要があると思う」と答えた人に理由を聞いたところ、「自衛力を持つてることを憲法にはっきりと書くべきだから」が64%と最も多く、「国連を中心とする軍事活動にも参加できるようにすべきだから」が15%、「海外で武力行使ができるようにすべきだから」と「自衛隊も含めた軍事力を放棄することを明確にすべきだから」がともに6%でした。

○憲法9条を「改正する必要はないと思う」と答えた人に理由を聞いたところ、「平和憲法としての最も大事な条文だから」が69%と最も多く、「改正しなくても、憲法解釈の変更で対応できるから」が13%、「海外での武力行使の歯止めがなくなるから」が11%、「アジア各国などとの国際関係を損なうから」が2%でした。

○憲法9条をどう評価するか聞いたところ、「非常に評価する」が22%、「ある程度評価する」が44%、「あまり評価しない」が20%、「まったく評価しない」が9%でした。

## 歌手の加藤登紀子さん

### 憲法を守り抜いた80年、守り抜けたは、日本の宝

歌手の加藤登紀子（81）が4日、TBS系「サンデーモーニング」（日曜前8・00）に出演。石破茂首相が憲法記念日の3日に開かれた改憲派集会にビデオメッセージを寄せたことを受けてコメントしました。

石破首相はメッセージの中で「緊急事態対応、自衛隊の明記、それを最優先に取り組んで参りたい」「憲法審査会の議論がさらに進み、国会発議が早期に実現するよう党として尽力する」と改憲早期発議に意欲を示しました。

総合司会を務めるフリーアナウンサー・膳場貴子から憲法に対する思いを聞かれると、「私はずっと戦後を見てきた世代ですので、この憲法を守り抜いた80年、今、現状本当に良かったと思ってるんです。この守り抜けたというのは、日本の宝だと思ってる」とコメント。

「60年安保で日米安保条約というのが結ばれた、改定された時に、一番強い圧力、改憲圧力がアメリカから来たと思うんです。よく改憲派の人たちが“この憲法はアメリカから押し付けられた憲法だから”という論法で言ってるが、実際にその圧力を跳ね返してきた力というのは自民党の中にもあったと思うし、絶対守り抜くという反戦の気持ちの人たちも支えてきたと思う」と憲法を守り抜いた人々の思いを説明。

そして「現状、日本が健全な意味で自衛隊の…改憲しなくても存続できているわけです。その現状を見るべきだし、あらゆる国家間の紛争を武力によって解決しないっていう切り札を持っている国は本当に貴重な国」と戦争放棄をうたう9条の意義を強調。9条があるからこそ「その交渉、平和交渉を必ずしていくんだっていうカードを持っていることは、相手の国に対しても平和交渉を求められるわけだから、世界全体を平和な世界にしていくための鍵を握っているのは日本なんです」と訴えました。

「そのことを自民党の人たち、石破さんにも理解してほしい」と要望し、「軽はずみに改憲したほうがいいっていう考えは、若い人たちもじっくり考えて、重大な問題ということをお伝えしたいと思います」と約2分に渡って思いを語りました。

**5・19**  
国会議員会館前行動

5/19 (月) 18:30 ~  
衆議院第2議員会館前を中心に

毎月19日行動

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会  
9条改憲 NO！全国市民アクション

PEACE  
憲法改憲反対

STOP  
軍備拡大